

“ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー

県民評価者事前説明会

静岡県の新ビジョンと施策レビューの実施概要

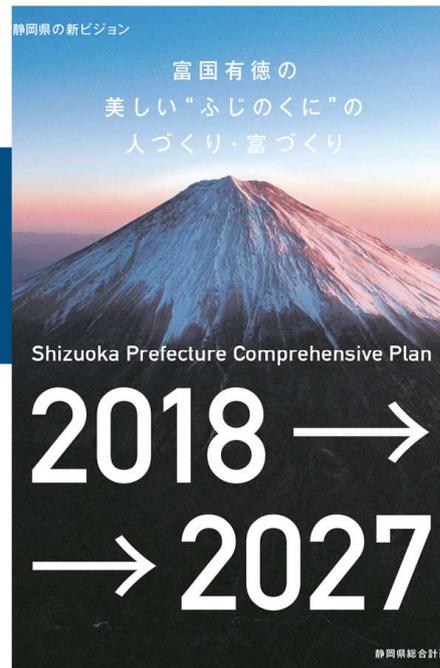
2021年6月
静岡県 政策推進局 総合政策課

^{しみん}
「士民」とは、富国有徳の志を持った人々を表し、豊かさの集積を「富」、廉直な心を堅持する者のことを「士」とし、両者を兼ね備えた「富士」から引用しています。

それでは、ふじのくに、士民協働施策レビューの県民評価者事前説明会を始めます。

まず、静岡県の新ビジョンと施策レビューの実施概要について御説明いたします。

静岡県の 新ビジョン



2020年9月 県民評価者事前説明会

2

静岡県の新ビジョンとは、総合計画とも呼ばれ、2018年3月に策定されました。

静岡県をどのような地域にしていくのか、そのためにはどんな政策を進めていくのかをまとめたものです。

県には、様々な政策分野で個別の計画がありますが、総合計画はその一番上に位置する計画です。

新ビジョンに掲げた施策の実効性を高めるため、毎年度、外部からの視点で客観的な政策評価を行い、継続的な施策の改善を図っております。

皆様が参加いただく施策レビューも政策評価の一つとして位置づけ、

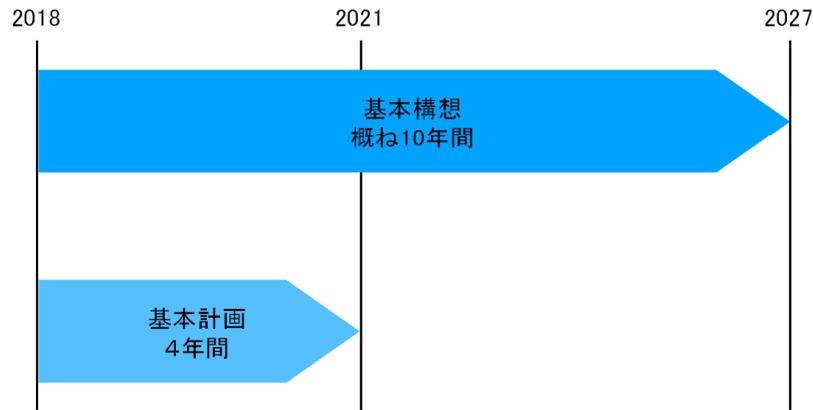
新ビジョンに掲げる政策や施策が、効果のある取り組みと

なっているか、より良い施策の改善はできないかといった視点から議論いただき、施策の改善に反映していきます。

そのため、当日は、施策が必要かどうかという視点ではなく、どうしたらよりよい施策になるかという視点で議論を進めたいと思います。

静岡県の新ビジョン

- ・「基本構想」と「基本計画」



新ビジョンは、基本構想と基本計画で構成されています。

近年の社会経済情勢や技術の進歩といった急激な変化を考えると、10年以上を超える予測が難しいことから、基本構想は概ね10年先、どのような静岡県になればよいか、という目標をおいています。

基本計画は、政策や施策をまとめたものであり、基本構想に基づき当初4年間に取り組む具体的な施策を記載しています。

静岡県の新ビジョンの基本構想

・「基本理念」

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
ドリームズ カム トゥルー イン ジャパン
～静岡県を Dreams come true in Japan の拠点に～

・「目指す姿」

「県民幸福度」の最大化	<ul style="list-style-type: none">◆ 生まれてよし 老いてよし◆ 生んでよし 育ててよし◆ 学んでよし 働いてよし◆ 住んでよし 訪れてよし
-------------	--

2021年6月 県民評価者事前説明会 4

基本構想は、基本理念と目指す姿、その実現のための基本方向を記載しています。

基本理念は「富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり、静岡県をドリームズ カム トゥルー イン ジャパン の拠点に、を掲げています。

富国有徳の美しいふじのくにづくりを解説しますと、富国有徳は、本県のシンボル富士山になぞらえ、富士山の富は豊富な物産を表し、富士山の土は、武士の土でも使われますが、徳の有る人材を示します。富と徳のある人がいる国と言う意味を表しています。美しいふじのくには、環境や景観が美しいことを表しています。

静岡県をドリームズ カム トゥルー イン ジャパン の拠点に、は、日本は今、世界一の健康寿命を誇り、高い技術力と人材、豊かな伝統・文化、自然に培われた国と言われます。

世界ので起きている課題を経済力、人材力、技術力で克服し、日本に来れば、誰でも努力をすれば人生の夢が叶うということが、ドリームズ・カム・トゥ

ルー・イン・ジャパン です。

静岡県が率先して、そのモデルとなるべく、静岡県をドリームズ カム トゥルー イン ジャパン の拠点に としました。

10年先の目指す姿としては、人々の夢を叶える、「県民幸福度の最大化」を掲げています。

県民幸福度の最大化の4つの視点として

生まれてよし 老いてよし

生んでよし 育ててよし

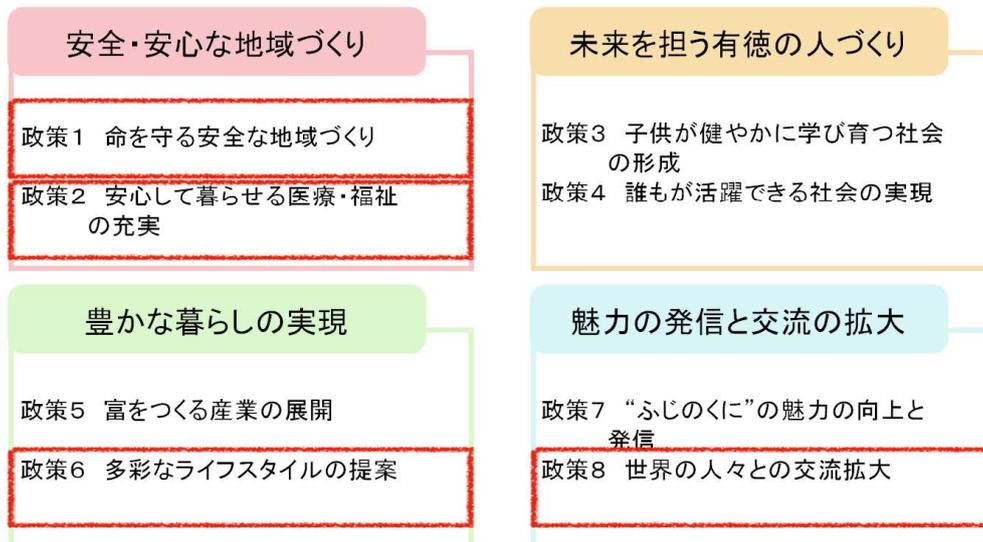
学んでよし 働いてよし

住んでよし 訪れてよし

をあげ、これらが全て満たされ県民幸福度が最大になることを10年先に目指す姿としました。

静岡県の新ビジョンの基本構想

・「政策の基本方向」



2021年6月 県民評価者事前説明会 5

基本理念と目指す姿から、政策の基本方向を4つ、政策を8つ掲げています

生まれてよし老いてよし、は安全・安心な地域づくり。
生んでよし育ててよし、は未来を担う有徳の人づくり。
学んでよし働いてよし、は豊かな暮らしの実現。
住んでよし訪れてよし、は魅力の発信と交流の拡大。
として各方向に政策を2つ掲げています。

今年の施策レビューの施策は、この8つの政策のうち4つの政策に関する6つの施策を対象としています。

基本計画は、基本構想の基本理念や目指す姿の実現に向け、本年から4年間で具体的に組み込む政策や施策等を記載しています。

施策レビューは、政策評価の一つとして位置づけ、改善提案

等をいただき、それを施策改善に反映していきます。

基本計画は、基本構想に掲げる基本理念や目指す姿の実現に向けて2018年度から4年間で取り組む具体的な施策が記載されています。

基本構想に掲げる8つの政策ごとに、目標や施策・主な取組を整理した「政策体系」、「政策の実効性を高める行政経営」、伊豆、東部、中部、西部の4つの地域の基本方向と取組を整理した「地域の目指す姿」の3つのパートに分かれています。

「政策」「施策」「事業」とは

政策

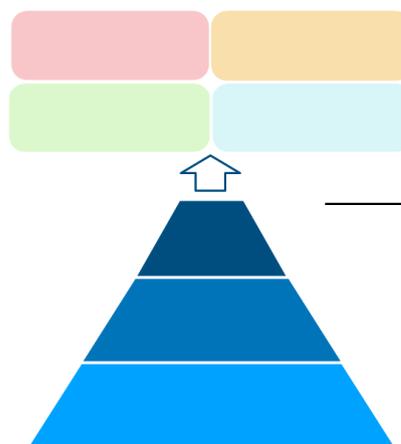
県が目指す地域づくりの方向や
目的を示すもの
「施策」の集合体
例：「命を守る安全な地域づくり」

施策

「政策」を実現するための方策や対策
「事業」の集合体
例：「地震・津波対策」
「地域防災力の強化」など

事業

「施策」を実現するための具体的な手段
例：「災害対策本部等体制強化事業費」
「県民防災啓発強化事業」など



2021年6月 県民評価者事前説明会

6

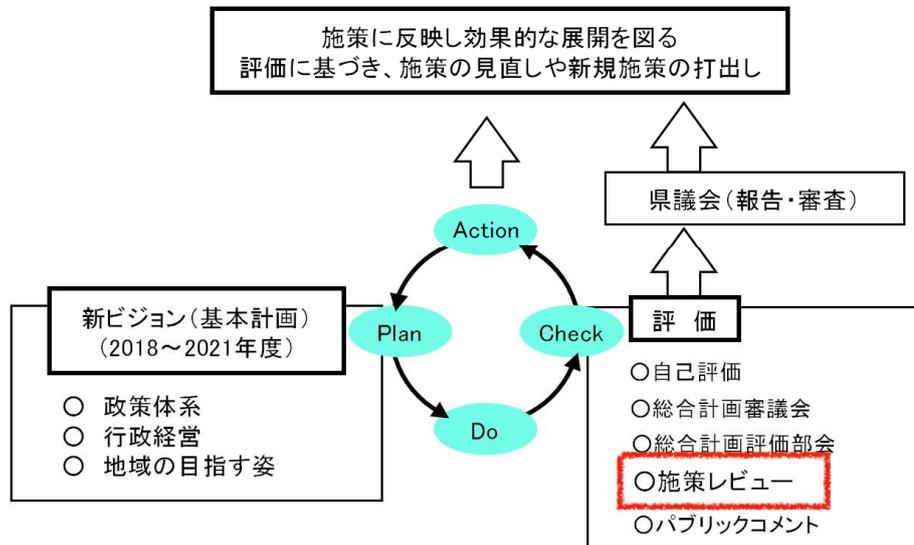
ここまで、政策や施策、事業といった単語が出てきましたが、似たような言葉で分かりづらいため説明をします。

政策は、県が目指す地域づくりの方向や目的を示すもので施策の集合体です。

施策は、政策を実現するための方策や対策などを示し、事業の集合体です。

事業は、施策を実現するための具体的な手段となっています。これら事業等を積み重ねることで、基本構想を実現していくこととなります。

新ビジョンの評価



2021年6月 県民評価者事前説明会

7

新ビジョンは、その実効性を高めるため、毎年度外部の視点で客観的な政策評価を行うと説明をしました。

新ビジョンの評価は、県による自己評価と、計画全体を評価する、外部有識者による総合計画審議会、施策事業レベルを評価する、同じく外部有識者による総合計画評価部会があります。

その政策評価の一つに、施策レビューが位置づけられ、皆様からの御意見により施策の見直しを図ります。

施策レビュー



昨年度の施策レビューの様子

続いて、施策レビューの概要について御説明します

施策レビュー実施概要

目的	政策評価の一環として位置づけ、県民の皆様から施策に対する改善提案をいただき、新ビジョンに掲げる施策の継続的な改善を通じて、より効果的な施策展開を図っていく。
実施日	令和3年7月10日（土）、11日（日）
実施方法 対象事業数 等	○施策に対する改善提案 ・専門委員と県民評価者が議論やシートに意見を記載し、改善案をまとめる。 ・1班1施策を議論し、2日間で計6施策を検討する。
その他	1. 従来の来庁参加型に加え、昨年から新たにオンライン参加型を導入 2. ふじのくにづくり学生研究会(※1)、静岡時代(※2)と共催

※1: 事業レビューに参加した学生が自主的に立ち上げた研究会。県の施策等について研究
※2: 県内の大学生が学校の枠を超えて集まり、県内の大学生のためのフリーペーパー等を作成

施策レビューの目的は、先にも話したとおり皆様から施策に対する改善提案をいただき、施策の着実な推進を図ることです。

実施日は、令和3年の7月10日と11日です。
実施方法は、コーディネーターの進行のもと、県民評価者が議論し、施策に対する改善提案をおこないます。
1班1施策を議論し、2日間で計6施策を検討します。

施策レビューは、ふじのくにづくり学生研究会と静岡時代と共催で開催しております
ふじのくにづくり学生研究会とは、事業レビュー等へ参加した学生が自主的に立ち上げた研究会で、県政について勉強したり、学んだことを発信したりしています
静岡時代は、県内大学生が作る大学生のための情報誌で、12年前からフリーペーパーを出版しています。

施策レビューの変遷

区分	H21、22	H23、24	H25、26	H27-29	H30・R2	R3
名称・方式	事業仕分け	事業レビュー			施策レビュー	
	△ダの排除	県民参加型への転換			県民視点での改善へ	
	仕分け人方式	県民評価者方式				
対象事業 (施策)	主要事業		数値目標の達成 状況に遅れがあ る施策	人口減少対策	新ビジョンに掲げる25本の中柱 から主要な施策を選定	
対象事業数	204事業	60事業	42事業+6分野	20事業+4分野	18施策	6施策
対象事業費	961億円	79億円	234億円	46億円	—	—
財源捻出額	▲48.2億円	▲0.8億円	—	—	—	—
県民評価者	—	294人	394人	541人	508人	186人 (6/1時点)
意見数	—	983件	2,695件	1,838件	91件の改善 提案	—

2021年6月 県民評価者事前説明会 10

施策レビューの変遷です。

静岡県は、事業仕分けを平成21年度から継続して開催してきました。

平成29年度までに9年間実施し、300を超える事業について仕分けをしてきた結果、県が実施している事業については仕分けが一巡したと考えております。

そこで、平成30年度からは、先ほど説明した「新ビジョン」の政策評価の一環として施策改善の提案をいただく「施策レビュー」に変わりました。

対象施策

班	対象施策	施策推進の視点
1班 7/10 (第1会場)	6-3 エネルギーの地産地消 (1) 再生可能エネルギーの導入促進 (3) エネルギー産業の振興	・脱炭素社会の形成に向けた再生可能エネルギーの最大限の導入拡大 ・県内企業のエネルギー関連産業への参入促進
2班 7/10 (第2会場)	2-4 健全な心身を保つ環境の整備 (2) 自殺対策の推進	・県、市町、団体、企業、県民等が一体となった自殺対策の総合的な推進 ・若年層に重点を置いた自殺対策の推進
3班 7/10 (第3会場)	8-2 地域外交の深化と通商の実践 (1) 地域外交の推進 (2) 世界の様々な国・地域との多様な交流	・人をつくり、富をつくり、平和を築く地域外交の展開 ・社会変容を踏まえた地域外交の展開
4班 7/11 (第1会場)	1-2 防災・減災対策の強化 (2) 風水害・土砂災害対策	・風水害・土砂災害からの逃げ遅れによる犠牲者の防止
5班 7/11 (第2会場)	2-3 障害のある人が分け隔てられない共生社会の実現 (1) 障害に対する理解と相互交流の促進 (2) 多様な障害に応じたきめ細やかな支援 (3) 地域における自立を支える体制づくり	・障害に対する理解と合理的配慮の提供の推進 ・発達障害のある人に対する支援の充実、一人ひとりの特性に応じた就労の促進
6班 7/11 (第3会場)	8-3 交流を支える交通ネットワークの充実 (3) 競争力の高い富士山静岡空港の実現	・公共施設等運営権制度の導入と運営権者による適切な業務履行の確保 ・交流を支える航空ネットワークの維持・強化 ・空港周辺の新たな価値や交流を生み出す取組

2021年6月 県民評価者事前説明会 11

今年度の対象施策は6つです。

対象施策の選定は、新ビジョンに掲げる25本の中柱を順次抽出し、抽出した中柱に位置付けられる主要な施策を選定しています。

本年は、過去3年かのレビューで未選定の中柱より選定しました。

1日目は、「エネルギーの地産地消」、「健全な心身を保つ環境の整備」、「地域外交の深化と通商の実践」について議論します。

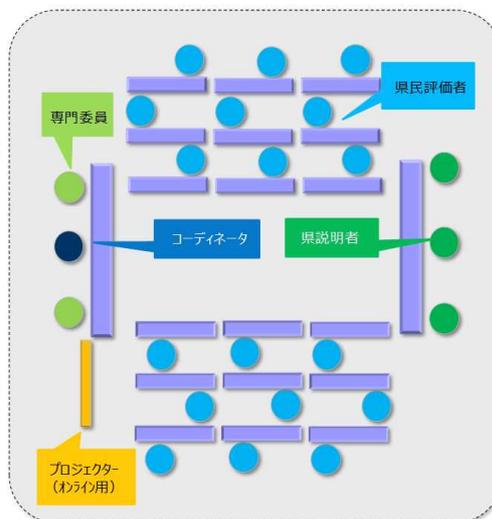
2日目は、「防災・減災対策の強化」、「障害のある人が分け隔てられない共生社会の実現」、「交流を支える交通ネットワークの充実」について議論します。

施策レビューの参加者と役割

各班の構成

- コーディネータ: 1人
議論の進行役
- 専門委員: 2人
外部有識者などで構成。専門家として質疑や意見提案等を行う。
「県民評価者の感想の共有の時間」における進行役。
- 県説明者等: 3名程度
施策概要、現状と課題等の説明や質疑への回答を行う。
- 県民評価者: 来庁参加18名、オンライン10名程度**
対象施策の改善のための議論や意見提案等を行う。
最終的に「改善提案シート」に意見を記載する。

会場配置イメージ



一班あたりの構成です。

各班に議論の進行役のコーディネーターが1名います。

専門委員が2名 専門委員は外部の有識者で構成しています。対象の施策の専門的な知識を持っている方で、みなさんと同じように議論に参加していただきます。

県の説明者は5名程度 対象の施策を説明したり、皆さんからの質問に対応します。

県民評価者の皆様は、専門委員と共に議論していただき、改善提案シートに意見を記載していただきます。

基本的には、全員に発言をしていただきますが、発言できなかった意見などは最後にシートに記載してください。

新型コロナウイルス感染症への対策

○「イベント開催における感染防止方針」に準拠した感染拡大防止の徹底

- ・参加者同士の間隔の確保(来庁参加者数の制限)
- ・参加者の検温、マスクの着用、消毒液の設置、定期的な換気 等
- ・参加者全員(傍聴者を含む)の氏名・住所の把握
- ・接触確認アプリの利用の呼びかけ など

○「ふじのくに基準」の警戒レベルに応じた対応

「ふじのくに基準」に基づく警戒レベルの引上げ等により、行動(移動)が制限された場合は、開催方法等の検討を行う。

○参加者の健康状態等に応じた対応

- 参加者(傍聴者を含む)に新型コロナウイルス感染症に罹患している疑いがある場合は、参加の自粛を要請。
- ・体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合)
 - ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方との濃厚接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

開催時における、新型コロナウイルス感染症への対策です。

「イベント開催における感染防止方針」に準拠した感染拡大防止の徹底し、参加者同士の間隔の確保、参加者の検温、マスク着用の徹底、消毒液の設置、定期的な換気、参加者全員の氏名、住所の把握、接触確認アプリの利用呼びかけなどを実施します。

「ふじのくに基準」の警戒レベルに応じた対応として、警戒レベルに応じて、行動制限等があった場合は、開催方法の検討を行います。

また、参加者の健康状態等に応じた対応として、新型コロナウイルス感染症に罹患している疑いがある場合や、体調が良くない場合は、参加自粛をお願いします。

県民評価者の概要(6月1日時点)

1 募集区分別

区分	人数	決定方法等
無作為抽出	80人	市町の選挙人名簿から、2,000人を無作為に選出し案内を発送し募集
サポーター枠	55人	過去に事業レビュー等に参加した“ふじのくに”づくりサポーターに案内を発送し募集。
若者枠	51人	県内の20代社会人、大学生、高校生を対象にホームページ等で募集。
計	186人	人数には、オンラインでの参加者を含む

2 年代別

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
人数	65人	20人	16人	35人	31人	19人	186人
割合	34.9%	10.8%	8.6%	18.8%	16.7%	10.2%	100%

次に、県民評価者の概要です。

選挙人名簿から無作為抽出したへの募集により、80人、過去に事業レビュー等に参加した、“ふじのくに”づくりサポーターへの募集で55人、若者枠として、県内大学生や高校生等に募集を行い、51人、計186人の皆様に御協力いただきます。

年代構成としては、30代までの世代で45.7%をしめ、若者の参加率が高いことが分かります。

当日のスケジュール

時間	内容	場所、備考等
9:15～10:00	受付 (9:45までに受付してください)	別館1階 エントランスホール 一各級の会場 第1班(第4班) 第1会場 第2班(第5班) 第2会場 第3班(第6班) 第3会場
10:00～10:10	開会式	第1会場にて開催 (第2、3会場はオンライン中継)
10:20～10:45 10:45～12:10	学生研究会キーワード発表(5分) 施策概要説明(20分) 施策に対する質疑及び議論 1	現状と課題、近年の動向、施策等概要説明 評価者は意見提出シート作成
12:10～13:10	昼食・休憩	県民評価者の昼食(弁当)は主催者が用意
13:10～14:10	施策改善の議論 2	論点を絞った議論を実施
14:10～14:20	休憩	
14:20～15:40	施策改善の議論 3	評価者は改善提案シートを作成
15:40～16:00	県民評価者、専門委員による感想の共有	事務局とコーディネーターは「とりまとめコメント」を作成
16:00～16:30	「とりまとめコメント」の共有及び補足	
16:40～17:00	閉会式	第1会場にて開催 (第2、3会場はオンライン中継)

当日のスケジュールです。

10時から開会式を実施しますので、それまでに受付をお願いします。

開会式の後、議論を始めます。

ここでは、学生研究会によるキーワード発表や、県の担当課による施策説明があります。

昼食後、午後の部が開始します。

午後の部では、午前中に出た議論内容から論点を絞って実施し、評価者は最終的に改善提案シートを作成して提出します。

おわりに

- 施策レビューは、新ビジョンに位置づける施策の改善を図るため皆様から御意見をいただく場です。
- 施策レビューでいただいた意見を踏まえて施策の改善を図り、効果的な施策展開につなげます。

動画を御覧いただきありがとうございました。

さいごに、施策レビューは、新ビジョンに位置づける施策の改善を図るため皆様から御意見をいただく場です。県民評価者の皆様には、「改善提案シート」により積極的に施策改善の提案をお願いします。いただいた意見を踏まえ施策の改善を図り、効果的な施策展開につなげます。

動画を御覧いただき、ありがとうございました。